

明るく 仲よく たくましく ～「心のふるさと」となる あ・な・た を大切にする学校～
日仏文化学院パリ日本人学校 平成27年度 学校だより 第8号

L'arc-en-ciel entre la France et le Japon



平成27年11月2日(月)発行 [文責：河部]

子どもたちの笑顔で一杯、“パリ日本人学校まつり”

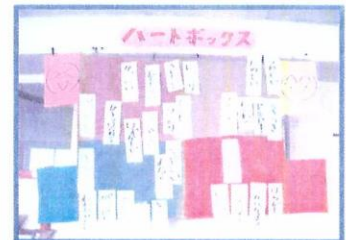
10月24日(土)、「パリ日本人学校まつり」が開催されました。親師会役員の皆様の半年以上にわたる準備を経て盛大に開催されましたが、当日は、いたるところで子どもたちの笑顔があふれていました。本年度は、モンティニー市の副市長も来場され、まつりの様子をご覧いただくとともに、餅つき体験をしていただき、プロカントではたくさんの買い物もしていただきました。このような形で、地域とのつながりも保って参りたいと思います。奥村会長様をはじめ、親師会役員の皆様、本当にありがとうございました。併せて、さまざまな形でご協力いただいたすべての皆様に対しまして、この場をお借りしてお礼申しあげます。2学期の二大行事を終えましたので、私ども教職員は、子どもたちにとって充実した“学び・勉強の秋”となるよう、努めさせていただこうと思います。併せて、受験を控えている中学部3年生と一部の小学部6年生につきましては、保護者の皆様としっかり連携を取りながら確実に手続き等を進めさせていただきたいと思っておりますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



子どもたちの国語力の向上のために

本校では、昨年度から子どもたちの国語力の向上のために、各学年で様々な取組を行っています。先月号では中学部の「青少年の主張大会」の様子をお伝えしましたが、今月号では、小学部の様子を学年ごとにご紹介します。(以下、各学年担任のコメントです。)

1年生では「ハートボックス」という取り組みをしています。心の中を表す言葉(例えば、「うきうき」「くやしい」「がっかり」など)を喜怒哀楽に分けて掲示しています。今まで使ったことのない言葉を授業中に使おうとする姿が見られたり、新しく見つけた言葉を「ハートボックス」に入れようと探す姿が見られたりしています。ご家庭でも一緒に考えてみてください。



2年生では「うれしいことば」という取り組みをしています。言葉には人を喜ばせたり、うれしい気持ちにさせたりする働きがあることを国語科で学習しました。その学習を普段の生活でも活かせるよう教室掲示を行い、スピーチや発表の後の「言葉のキャッチボール」のヒントにしています。質問や感想を話してくれた友だちに言葉で気持ちを伝え返したり、自分の思いや感じたことを相手の目を見て伝えたりできる子どもたちが増えてきています。また、「昔の月の読み」ができるように一か月ごとに紹介し、少しずつ覚えていきます。日本語だけに限らず、フランス語、英語での読み方の確認もしています。



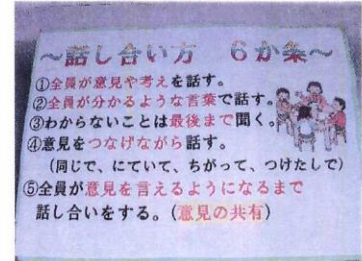
3年生では4月から「発表名人への道」、2学期から「3年1組名文検定」という取り組みをしています。話の中心や話の「はじめ・中・おわり」を意識して話したり、説明する時の話型を練習させたりしています。名文検定はまだ取り組みが浅いですが、雨ニモマケズ、七草、平家物語、坊ちゃん、竹取物語、枕草子など11の「名文」を暗記し、名人を目指します。美しく豊かな日本語のリズムや表現に触れさせたいと考えました。



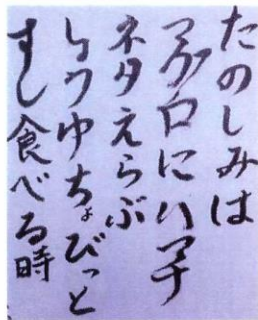


4年生では、朝の会の時間を利用して、日直の「スピーチ」を行っています。3年生までの国語で学習した内容を押さえ、4年生で気を付ける内容（話し方や聞き方、内容等）などを段階的に加えながら進めています。また、スピーチをした後には、仲間のスピーチを評価する活動を位置付けています。その活動を通して、成長している自分たちの姿に喜び、互いに刺激し合っています。今後も継続し、来年度の姿につなげていきたいと考えています。

5年生では友だち同士の話し合い活動を多く取り入れていこうと考えています。そこで、自分の意見を周りの友だちに伝えるよい方法として「発表の仕方6か条」、友だちの意見をしっかり聞く方法として「聞き方6か条」、話し合い活動の中で大事にしたい「話し合い方6か条」を子どもたちが見やすい場所に掲示しています。掲示するだけでなく、授業中にみんなで見て確認する



することで、しなければならないことに改めて気づく資料として活用しています。



6年生では行事や連休の際に新聞づくりを行っています。新聞名や見出し、レイアウトを工夫しながら書いていくようにしています。また、毎週末に日記を書くようにして、自分の思いを素直に表現することや出来事を、順を追って説明することを行っています。授業においては、国語や算数を中心に交流学习の中で、筋道立てて説明することを、ほぼ毎時間行うようにするとともに、他学年との交流も行い、相手に応じた説明や言葉遣いができるようにしています。また、国語で学んだことを書写や他教科で生かしていくようにしています。

以上のように、各学年で担任が持ち味を出しながら取り組んでいるところです。そこで、私自身も何か取り組みたいと考え、今月から、小学校で習得すべき漢字、全1,006字についての確認プリントを行うことにしました。これまでの「パリ日アスリート（小1～3年：運動の記録）」「都道府県庁所在地・首都覚え（小4～6年）」と同様、あくまでも任意の取組としますが、漢字の好きなお子様、反対に少し苦手意識をもっているお子様にお声かけいただき、さらなる漢字力アップにつなげていくことができたらと思います。ただし、あくまでも各学年における課題（宿題等）を優先していただくようお願いいたします。